

めぐみイエス・キリスト教会

2024年4月14日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第703号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌233「驚くばかりの」 p. 354

【交読文】 No.41 詩篇第127篇 p. 912

【賛美Ⅱ】 新聖歌467「世の終りのラッパ」 p. 752

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「ビジョン」

【聖書朗読】 ルカの福音書4章31節～37節 (p. 116下段)

【礼拝説教】 《ガリラヤ宣教の始まり》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所】 ルカの福音書4章31節～37節

4:31 それからイエスは、ガリラヤの町カペナウムに下られた。そして安息日には人々を教えておられた。

4:32 人々はその教えに驚いた。その言葉に権威があったからである。

4:33 そこの会堂に、汚れた悪霊につかれた人がいた。彼は大声で叫んだ。

4:34 「ああ、ナザレの人イエスよ、私たちと何の関係があるのですか。私たちを滅ぼしに来たのですか。私はあなたがどなたなのか知っています。神の聖者です。」

4:35 イエスは彼を叱って、「黙れ。この人から出て行け」と言われた。すると悪霊は、その人を人々の真ん中に投げ倒し、何の害も与えることなくその人から出て行った。

4:36 人々はみな驚いて、互いに言った。「この言葉は何なのだろう

か。権威と力をもって命じられると、汚れた霊が出て行くとは。」
4:37 こうしてイエスのうわさは、周辺の地域のいたる所に広まっていた。

●ポイント1.「ルカが省略した弟子たちの再招集」とは？

※マルコの福音書1章16節～21節「故郷ナザレから戻る」(新約p.65)

1:16 イエスはガリラヤ湖のほとりを通り、シモンとシモンの兄弟アンデレが、湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。

1:17 イエスは彼らに言われた。「私について来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」

1:18 すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。

1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

1:20 イエスはすぐに彼らをお呼びになった。すると彼らは、父ゼベダイを雇い人たちと共に舟に残して、イエスの後について行った。

1:21 それから、一行はカペナウムに入った。イエスはさっそく、安息日に会堂に入って教えられた。

●ポイント2.「言葉に権威があった」とは？

※ヨハネの福音書3章34節「使徒ヨハネの見解から」 (新約p.181)

3:34 神が遣わした方は、神の言葉を語られる。神が御霊を限りなくお与えになるからである。

※ヨハネの福音書14章10節「主イエス様の言葉から」 (新約p.214)

14:10「私が父のうちにおいて、父が私のうちにおられることを、信じていないのですか。私があなたがたに言う言葉は、自分から話しているではありません。私のうちにおられる父が、ご自分のわざを行なっておられるのです。」

●ポイント3.「私たちに与えられた権威」とは？

※エペソ人への手紙6章10節～16節「パウロの勧めから」(新約p.392)

◎先週の礼拝メッセージ【仕えるしもべの恵み】

《先週の礼拝は、日本国際飢餓対策機構(ハンガーゼロ)の総主事、近藤高史先生に、メッセージをしていただきました。特に、先生が救われた証しには、大いに感動させられました。主は素晴らしきかな！

さて、この箇所は、ヨハネの福音書における最初のしるしとして、カナの婚礼において、主イエスが水をぶどう酒に変えたことです。

この箇所の中心は、9節と10節ではないでしょうか。口語訳では、『料理がしらは、ぶどう酒になった水をなめてみたが、それがどこからきたのか知らなかったので、(水をくんだ僕たちは知っていた)花婿を呼んで言った、「どんな人でも、初めに良いぶどう酒を出して、酔いが回った頃に悪いのを出すものだ。それなのに、あなたは良いぶどう酒を今までとっておかれました。』(口語訳2:9～2:10)』となっています。

ここから、三つのポイントについて考えて見ます。一つ目は、主は水をぶどう酒に変えられました。これは私たちを表わしています。

私たちは、ただの水から、香り高いぶどう酒に変えられたのです。つまり価値の無い物から価値の有る物に変えられたということです。

二つ目は、仕える僕は、一番最初に主の奇跡を知る恵みに預かれることです。まさに、『(水をくんだ僕たちは知っていた)』のです。

そして三つ目は、僕たちは、主イエスの言葉に忠実に従いました。「水がめを水で一杯にしなさい。さあ、それを汲んで宴会の世話役の所に持って行きなさい。」

彼らは何も言わず、もくもくと、主イエスが命じられたように、80ℓから120ℓはいる六つの水がめを、縁まで一杯にしました。それを成し遂げた時に、ただの水がぶどう酒に変わったことを体験したのです。

主イエスの御言葉に従い、ただ信じて、言われたとおりに行動する。そうすれば、やがて神様の御わざを見る事になるのです。》

お知らせ

※次回は4月21日(日)は午前10時から、通常通りに行ないます。